

WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2012年
7・8月号 Vol. 44

Wakayama Culture and Arts POWER

【和歌山癒しの電車紀行】

紀州鉄道で巡るゆる旅

【紀州鉄道／御坊市】

御坊の町をのんびり走る「紀州鉄道」。路線全長はわずか2.7キロ。街並みを縫うように走る電車は地域に根付いた市民の足として活躍しています。

Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県文化表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 和歌山癒しの電車紀行…6
- 大好き和歌山…7
- カルチャーインフォメーション…8

artist message

アーティスト メッセージ

科学の不思議を素直に感じて 米村でんじろうのサイエンスショー!

8月25日(土)に粉河ふるさとセンター(紀の川市粉河)で「米村でんじろうのおもしろサイエンスショー2012」が開催されます。不思議な科学を子供たちに身近に感じてもらおうと、家族で楽しめる内容です。でんじろう先生にお話を伺いました。

Q サイエンスショーを始めたのはどのようなきっかけですか。

A 20年近く前まで都立高校の教師をしていました。40歳の時、学校以外で多くの人に科学の楽しさを知ってほしいと思ったのがきっかけです。

Q 子供たちの理科離れが進んでいると言われますが、どのようなお考えですか。

A もし、理科離れが進んでいるとすれば科学の楽しさを体験する機会が少なくなってきたからだと思います。そういう環境を大人たちが作れば理科離れがなくなるのではないのでしょうか?

Q ショーを見た子供たちからはどのような反響がありますか。

A 人を感動させたり喜ばせたりするツボは「不思議さ、驚き」なんです。

そんなことから自分でも実験をやってみたくという声が多いです。科学の不思議を素直に感じて欲しいです。

Q ショーに来てくださる方へのメッセージをお願いします。

A 遊びや日常の体験の中にも科学の原理が隠されている。音楽や映画を楽しむように科学にも親しんで

ださい。また、不思議と思う気持ちを大切に! 集まっていたただいたお客様に楽しんでいただけるよう、いつも心がけています。素直に楽しんでください!



ワクワクドキドキ! 不思議な実験がたくさん!



※写真はイメージです。当日の内容と異なる場合があります

Profile

米村でんじろう

1955年、千葉県に生まれる。東京学芸大学大学院理科教育専攻科修了後、自由学園・講師、都立高校教諭を勤めた後、広く科学の楽しさを伝える



る仕事を目指し1996年独立。NHK「オレは日本のガリレオだ!!」に出演。話題を呼ぶ。1998年「米村でんじろうサイエンスプロダクション」設立。現在、サイエンスプロデューサーとして、科学実験等の企画・開発。各地でのサイエンスショー・実験教室・研修会などの企画・監修・出演。各種テレビ番組・雑誌の企画・監修・出演など、様々な分野、媒体で幅広く活躍中。

■主な出演番組 NHK「サイエンスステージ」、「トップランナー」、「おれは日本のガリレオだ!!」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、「天才!志村どうぶつ園」、TBS「どうぶつ奇想天外」、「うたばん」、フジテレビ「平成教育委員会」他多数

■主な書物 「米村傳治郎のおもしろ科学館」(オーム社)、「君にもできる手作り電池」(岩波書店) ほか

■受賞歴 1996年「強力なりサイクル電池の発明」で、第1回科学技術体験活動アイデアコンテスト・科学技術庁長官賞受賞。1998年、第1回科学技術普及啓発功績者として、科学技術庁長官賞受賞。

8/土
25

米村でんじろうのおもしろサイエンスショー2012

ステージ上での実験と先生のわかりやすい解説を交え、より科学に興味を引く内容となっています。

- 開演/①午後1時 ②午後3時30分
- 場所/粉河ふるさとセンター大ホール
- 入場料金/一般2,000円、中学生以下1,000円(3歳未満は無料。但しお膝の上)好評発売中
- 主催・お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成23年度 和歌山県文化賞



幹細胞生物学者・発生生物学者

中辻 憲夫(なかつじ のりお)さん

昭和25年橋本市出身。52年に京都大学院理学研究科の博士課程を修了後、マサチューセッツ工科大学など海外で研究。帰国後、大手企業の研究員として活躍し、平成3年から国立遺伝学研究所、平成11年から京都大学再生医科学研究所教授として哺乳類発生学や幹細胞を研究。19年に同物質—細胞統合システム拠点(iCeMS)拠点長に就任。今年、英科学誌「バイオマテリアルズ・サイエンス」の編集長に就任。



「酪農家の次男坊として生まれ、子どもの頃から勉強して自立することを考えていました。橋本の自然豊かな場所で育った環境もあり、いろんなことに興味がありましたね」と、科学者として世界で活躍する中辻憲夫さん(62歳)。幼少の頃、特に熱くなったのが生き物とか。高校時代、図書館で見つけた生物学の専門書に強く惹かれ、京都大学理学部への進学を決めたと言います。「実践と実験で本

当の研究の面白さを教えてくれたのは、生物部の顧問の先生でした」。

中辻さんの専門は幹細胞生物学と発生生物学。ヒトES細胞株(胚性幹細胞株 はいせいかんさいぼうかぶ)の樹立研究計画を策定し、政府指針によるインフォームド・コンセントなどの手続きで提供されたヒト受精卵をもとに、国内で初めてその樹立に成功。分配体制を確立しました。これにより国内外の研究者が、将来の画期的な治療法や研究開発、新薬の試験などに携わり、安全性や薬効試験の信頼を高めることができます。医学界や産業界においても多大な貢献が期待され、さらにES細胞で培った高度な技術と知識は、iPS細胞の研究にも生かされ飛躍的な発展をとげています。

「どんなことでも得意とするものを高めて努力すれば、少々つまずいても切り抜け

て、さらなるステップアップをすることが可能です。“少年老いや早く学べることがわがし”のことわざにもあるように、今の一瞬一瞬を大切にしっかりと自分の頭で考え、常に最善を目指して自らの道を進んでください。それこそが周りにも自分にもベストであり、社会と国のためにもなるのです」。次代を担う子どもたちへ、中辻さんからのエールです。

現在、中辻さんは京都に在住。自らの研究を進める一方、文部科学省による世界トップレベルの研究拠点iCeMS初代拠点長として、さまざまな分野の精鋭チームを取りまとめています。「世界へ羽ばたく新タイプの研究と科学者を生み出し、真の国際的な研究組織を構築して日本の次の時代を切り開いていきます」と中辻さん。多彩な経歴を生かしてiCeMSを牽引しつつ、ES/iPS細胞を用いた疾患モデルの作成や新薬開発に応用するなど、幹細胞の研究や再生医学の発展に尽力し続けています。

写真提供: 京都大学 iCeMS



世界トップレベルの研究拠点iCeMS。「アルツハイマー病など、さまざまな病気で新薬の開発が早期に求められています。多くの研究者がES/iPS細胞を用いて研究を進めることで、一日も早い、安全性と信頼性のある新薬の開発にたどり着けると信じています」と中辻さん。平成16年には京都新聞大賞文化学術賞、日経BP技術賞を受賞。平成23年度、その功績を称え和歌山県文化賞を授与。

県内の音楽分野で活動している方の情報の登録へのお願い

県内の音楽分野で活躍している皆様を紹介することを目的に当財団のホームページ上にアーティストバンクを開設しています。また、現在クラシック音楽部門のみを掲載していますが、このたび新たにジャンルを拡大することになりホームページ上への登録を希望する方を受付しています。詳細については、下記までお問い合わせください。

■アーティストバンク <http://www.wacaf.or.jp/search/abank/index.html>

企業メセナ協議会「助成認定制度 相談窓口」をご利用ください

社団法人企業メセナ協議会は、2003年4月1日より、芸術文化活動への企業や個人からの寄付を促進する「助成認定制度」を全国規模で展開するために、各地の主要な文化関連機関に「相談窓口」を開設しています。和歌山県では県文化振興財団内に「相談窓口」を開設、本制度に関する問い合わせは下記にお問い合わせください。

■問い合わせ先/〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F

(財)和歌山県文化振興財団 事務局総務企画課 TEL.073-436-1331 午前9時30分～午後5時(土・日・祝日は除く)

7/火
3

劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』

演出/浅利慶太
原作/ルーシー・M・モンゴメリー

とても明るくて空想好き、おしゃべりでセンチメンタルな女の子アン・シャーリー。豊かな想像力で、日々の小さな喜びや悲しみをたちまちドラマにしてしまうキャラクターは、世界中の少女たちはもちろん、大人たちを魅了し続けています。そんなアンを主人公にした劇団四季のミュージカル『赤毛のアン』の公演が迫ってきました。心躍るメロディーやダイナミックなダンスが、ストーリーの魅力を存分に引き出し、本場カナダのスタッフからも「世界最高のアン!」と絶賛された舞台。かつて彼女の物語を愛読した人も、まだ知らない方も、この機会にぜひ会いにきてください。

- 開演/午後6時30分
- 場所/和歌山市民会館大ホール
- 入場料金/S席8,000円、A席6,000円
B席4,000円、子ども 全席半額
- ※子ども料金は、高校生以下3歳以上を対象とします。
- ※3歳未満はご入場をお断りします。
- 発売中
- 主催・お問い合わせ/和歌山県
(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331



2点ともPhoto by 荒井健

8/土
25

米村でんじろうのおもしろサイエンスショー 2012

テレビなどで科学の実験の楽しさを伝えている、米村でんじろう先生のおもしろサイエンスショーを夏休みに開催します。楽しめて、科学の不思議を再発見できる科学実験に家族や友達みんなでお楽しみください。

- 開演/①午後1時 ②午後3時30分
- 場所/粉河ふるさとセンター大ホール
- 入場料金/一般2,000円、中学生以下1,000円(3歳未満は無料。ただしお膝の上)
- 好評発売中
- 主催・お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331

プロフィール・米村でんじろう

東京学芸大学大学院理科教育専攻科修了後、都立高校教諭などを勤めた後、広く科学の楽しさを伝える仕事を目指し独立。NHK「オレは日本のガリレオだ!!」、日本テレビ「世界一受けたい授業」等に出演、話題を呼ぶ。現在、サイエンスプロデューサーとして活躍中。



※写真はイメージです。当日の内容と異なる場合があります

わかふるアートワークショップ講師募集 ~1日体験会~

芸術文化のもつ魅力やものづくりの楽しさ、技能の素晴らしさを知ってもらうために様々なジャンルの講師から指導を受けるアートワークショップ(体験型講座)を開催します。今回、これの講師を募集します。

- 日時/10月27日(土) 午前10時~午後4時
- 場所/北コミュニティセンター(和歌山市直川326-7 さんさんセンター紀の川内)
- 募集件数/10件
- 応募方法/所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送又はFAXで下記までお申し込みください。
- 応募締め切り/8月10日(金)まで
- 応募先・お問い合わせ/〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F
(財)和歌山県文化振興財団わかふるアートワークショップ係
TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

9/月
30

第40回和歌山県新人演奏会



前回公演より

クラシック音楽を学んでいる若人に発表の機会をつくり、その門出を励まし広く県民に紹介するコンサート。オーディション(7月1日実施)に合格した方々がさらにレベルアップしたみずみずしい演奏を披露してくれるでしょう。

- 開演/午後1時
- 場所/粉河ふるさとセンター大ホール
- 入場料金/一般1,000円(全席自由)
- 主催・お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331

和歌山県新人演奏会

昭和48年(1973年)に始まったコンサートでオーディションを経て出演した方々は延 700 名を超えています。

10/月
21

千住真理子ヴァイオリンリサイタル

千住真理子は2歳半からヴァイオリンを始め、12歳でNHK交響楽団との共演でデビュー。日本音楽コンクールに最年少の15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶応義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティコンサート等、社会活動にも関心を寄せるなど幅広い演奏活動を行っている。人気ヴァイオリニスト千住真理子が奏でる懐かしい日本のメロディやクラシックの名曲によるリサイタルをご期待ください。

- 開演/午後2時 ■場所/御坊市民文化会館大ホール
- 入場料金/3,000円(全席指定)
※学生(高校生以下)は1,000円の割引あり※未就学児入場不可
- 友の会優先電話予約/7月11日(水)~7月13日(金) 午前10時から午後5時まで
- 一般プレイガイド販売/7月20日(金)から
- 主催・お問い合わせ/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331
- 共催/御坊市教育委員会

■予定プログラム

J.S.バッハ/グノー/アヴェ・マリア シューベルト/アヴェ・マリア
カッチーニ/アヴェ・マリア アルビノーニ/アダージョ
山田耕筰/渡辺俊幸 編/赤とんぼ 草川 信/千住 明 編/夕焼け小焼け
モンティ/チャルダッシュ ほか



写真 富田真光(Vale.)

わかふるコンサート出演者募集!!

わかふる「和歌山」の「わか」と「たくさん」の「full」を併せた造語です

多くの皆様に気軽に音楽を楽しんでいただくことを目的に県内3カ所でコンサートを開催します。何れかで演奏を希望される方(チーム)は下記にご応募ください。詳細についてはお問い合わせ先まで。

■万葉館 お月見コンサート

日時/9月30日(日)夜公演 場所/万葉館(片男波公園)

■風土記 古民家コンサート

日時/10月7日(日)昼公演 場所/紀伊風土記の丘 旧柳川家住宅(重要文化財)

■動物愛護センターコンサート

日時/11月18日(日)昼公演 場所/動物愛護センター(紀美野町国木原372)

※3カ所とも3人(組)程度

■応募方法/所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送又はFAXで下記までお申し込みください。

■応募締め切り/7月31日(火)まで

■応募先・お問い合わせ/

〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F
(財)和歌山県文化振興財団わかふるコンサート係
TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

和歌山癒しの電車紀行

和歌山県内を走るのんびり電車をめぐる物語をシリーズで紹介します。

紀州鉄道で巡るゆる旅

御坊の街中をのんびりと進む「紀州鉄道」。わずか2.7kmの沿線ながら、愛敬があつてどこか懐かしい電車の旅です。



のどかな街並みをゆったりと進む小さな電車は地域にとって大切な交通機関



懐かしい雰囲気のある街並みを進む電車はどことなくかわいらしい。ときおり警笛を鳴らしながらのんびり電車は進みます

走る距離はわずか2.7km。短いながらも地元の人や鉄道ファンに色濃く愛されている「紀州鉄道」。1931年に街と港を結ぶ「御坊臨港鉄道」として開業し、現在では紀州鉄道としてJR線と御坊市内の中心部を結ぶ庶民の足として大切な役割を担っています。愛称は「りんこー」。数年前までノスタルジックな板張りのキハ603が運行していましたが、老朽化の

ため惜しまれつつも引退。現在は新型車両にその思いが託されています。出発はJR御坊駅構内にある0番ホームから。終点の西御坊駅までに4つの駅があり、片道8分の“ゆる旅”が始まります。平均時速は20km。ガタンゴトンと、のんびり民家の軒先をかすめながら進みます。まずは全国の学生に支持される学門駅に。縁起のいい響きから入場券が受験生のお守りになり、駅

中には学問の地蔵様があります。また紀伊御坊駅の構内ではお守りグッズも販売中。終点の西御坊エリアは日高別院を中心とした街で、江戸中期から続く醤油蔵や酒蔵が軒を連ねます。

紀州鉄道

- TEL.0738-23-0001(紀伊御坊駅)
- 運行区間/JR御坊駅～西御坊駅

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

7・8月インターナショナルカフェのお知らせ

和歌山県国際交流センターでは、毎月第3日曜日にいろいろな国の人とお茶を飲みながら、いろいろなことばで交流する『インターナショナルカフェ』を開催しています。毎回、有志の方々によるさまざまなアトラクションの披露もその魅力の一つです。7月は、インドの伝統舞踊とムービーダンスを予定しています。また、今回はアメリカから2名の大学生もゲストとしてこのカフェに参加します。和歌山県は北南米に多くの移民を送り出した移民県であり、海外各地に県人会があります。

和歌山県国際交流センターでは、アメリカ・南カルフォルニアとブラジルの和歌山県人会の青少年を対象に、自分たちのルーツである日本や和歌山について理解を深めていただくため、夏期・冬期に海外移住者子弟の受け入れを行っています。

今夏はアメリカの学生といるいるな国の方とともに楽しく交流を深めませんか？

■日時/7月15日(日)13:30~16:00(受付13:00~) ■場所/和歌山県国際交流センター ■申込/不要。当日センターへお越しください。 ■参加費/無料。ただし、何か一つ食べるものか飲み物をご持参ください。

【お知らせ】

8月のインターナショナルカフェはお休みです。代わりに、小学校6年生までのこどもが参加対象の、夏まつりを実施します。

『インターナショナルこども夏まつり』

■日時/8月19日(日)13:00~16:00(受付12:30~) ■場所/和歌山県国際交流センター



インターナショナルこども夏まつりの様子
詳しくは、国際交流センターまでお問い合わせください。

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL:073-435-5240 FAX:073-435-5243

■開館時間/午前10時~午後6時30分(金曜は午後9時まで) ■休館日/水曜日・祝日、年末年始
<http://www.wak-kokusai.jp/>

大好き 和歌山



浜の宮権踊が近づく盆前には、公民館で猛練習が始まります。権を持って円陣を組む突き出しや、二人一組になって権を互いに交差させる斬り合いなど、太鼓と音頭、踊り手が一つになって壮観な踊りを披露します。

右下／浜の宮権踊の衣装。腰みのは田代さんの手作り。

踊りを通じて継承される伝統と習慣 和歌山県指定民俗無形文化財「権踊」

浜の宮郷土芸能保存会

那智勝浦町の浜の宮地区で、長年にわたり受け継がれてきた郷土舞踊「権踊(かいおどり)」。その歴史は古く、伝承によれば神武天皇の東征軍を迎えた際、この地の漁師たちが激励のために踊ったとか。また一説で、源平合戦の折に、源氏へ加勢した熊野水軍を鼓舞する踊りだったともいわれています。口伝で言い伝えられた踊りは、権を右手に持ち、腰みのを巻いて、太鼓と歌のリズムに合わせて、時には激しく、時には優雅に踊ります。全国にも類がない異風独特な舞踊で、和歌山県の民俗無形文化財に指定されています。

「漁師町に伝わる大漁踊りでもあり、ごく最近まで補陀落山寺(ふだらくさんじ)に権踊が奉納されていました。今でも8月のお盆に、境内の駐車

場でやぐらを囲んで披露しています」。そう話すのは、権踊を継承する「浜の宮郷土芸能保存会」の田代匠さん。同会は昭和47年、無形文化財に指定された同年に発足。現在も地区のメンバーで結成され、23人が伝承者として名を連ねています。27歳の青年から年長者は81歳、平均は60代。例にもれず、後継者問題が目下の課題です。「若い人は覚えた瞬間に都会へ出てしまいます。土地と共に伝わる先人からの大切な教えだけに、絶やすわけにはいきません」と田代さん。

全盛期には同会のメンバーも50人を上回り、地元の観光ホテルなどでも権踊を披露。小学校の運動会でもプログラムに組み込まれ、踊りを子どもたちに教えていたそうです。今でも8月になれば地元の老人施設

を慰問。そのための準備も練習も怠りません。熊野水軍の旗印を表す○に十の法被を大切に保管し、腰みのは各自お手製。「腰みのは餅米のわらが一番。2年に一度は作り替えていますよ」と、良いわらばかりを選びすぎり今年新調した腰みのは、田代さんの自信作。日常生活に溶け込む一つ一つの習慣もまた、踊りと一緒に継承されているようです。

浜の宮権踊

会場／補陀落山寺境内(駐車場)

●開催／8月12日(日)予定

●時間／19:00～

●内容／浜の宮地区の盆踊り大会にあわせて同時開催。JRきのくに線「那智駅」下車徒歩約2分。

●お問い合わせ／浜の宮郷土芸能保存会
TEL.0735-52-2030
(田代さん)

けんぶん耐震改修工事のご案内

昭和45年(1970年)に竣工した県民文化会館は、大ホール、小ホール、会議室、展示室を有し、和歌山県の文化の殿堂として約40年間多くの皆様にご利用されてきました。

平成23年4月から始まった約2年間の工事では、耐震補強の他、すべての人に使いやすいユニバーサルデザインの採用や環境への配慮等を改修内容に加え、来年(平成25年)4月1日リニューアルオープンに向け現在工事が進んでいます。

■一部改修内容のご紹介

- ・小ホール座席全面改修
- ・ホール及びロビー用シースルーエレベーターの新設
- ・太陽光発電設備の新設(屋上層)
- ・会議室全室にインターネット環境整備 他



リニューアル完成予想図

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

「あさもよし紀の国の 美しい風景と歌人たち」写真展

■7月4日(水)～10月14日(日)
最終日は午後3時まで

美しい紀の国の風景と、31人の紀の国の歌人たちによる、三十一文字の短歌と肖像写真を展示します。



古典学習セミナー『はじめての源氏物語 ～紀伊の地名をたどる～』

■7月15日(日) ■講師/金田 圭弘(近畿大学附属高校教諭)
8月19日(日) ■定員/先着20名(要申込み)
■受講費/1,500円/回

古典文学の最高傑作とされる「源氏物語」のおすすめ現代語訳やヴィジュアル雑誌、また最近上映されて「源氏物語 千年の謎」などにも触れながら、和歌山とつながりの巻を中心に読んでいきます。

所 和歌山市和歌浦南3丁目1700 図 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☑午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 図無*但し年末年始12/29～1/3及び設備機器等の点検日を除く 図入館無料 図

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

夏期企画展「古墳時代の宇都波(うつは)」

■7月14日(土)～9月2日(日)

古墳時代(3～7世紀)の土器に須恵器(すえき)と土師器(はじき)があり、当時何と呼ばれていたかは定かではありませんが、平安時代中期編纂の「和名類聚抄」では古代の器・皿類を須恵宇都波毛能(すえのうつはもの)、土師宇都波毛能(はじのうつはもの)と訓じられています。本企画展では5世紀を中心に朝鮮半島などからもたらされた土器(陶質土器)、我が国古来の伝統的な縄文土器、弥生土器の流れをくむ土師器など、紀伊国の光輝いた時代を描写します。



所 和歌山市岩橋1411 図 JR 和歌山駅東口から和歌山バス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☑午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) 図月曜(祝日の場合は次の平日) 図一般190円、大学生90円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ※7月18日(水)～8月31日(金)の平日は入館料が50%割引になります。 図

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

開館30周年記念企画展 世界のカブトムシ・クワガタムシ

■7月20日(金)～9月2日(日)

世界にはさまざまな形に進化したカブトムシやクワガタムシがいます。それらを標本や解説パネルでその多様性や進化の様子を解説。また、外国産の昆虫を飼うときの注意点や、日本の生態に及ぼす影響などもお伝えします。さらに開催期間中ご来館いただいた方に1枚ずつ昆虫ポストカードをプレゼント! (定数になり次第終了)



■展示点数/標本約100種200点、展示パネル18枚、
生体約10種100点(予定)

所 海南市船尾370-1 図JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 図月曜(祝日の場合は次の平日) 図一般460円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ※7月18日(水)～8月31日(金)の平日は入館料が50%割引になります。 図

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展「箱と包みを開いてみれば-文化財の収納法-」

■開催中～7月16日(祝・月)

文化財はたいてい箱や包みなどに入れられ収納されており、現在まで残されてきた背景には、こうした梱包や収納の方法に様々な工夫や知恵がなされていたからこそ。本展では多様な収納法やその意義について紹介します。



道成寺縁起、企画展「きのくにのむかしばなし」から

企画展「きのくにのむかしばなし」

■7月21日(土)～9月2日(日)

熊野や高野山、道成寺など和歌山ゆかりの寺社、西行や空海など今も伝わる和歌山の有名人など、それにまつわる絵入りの物語を紹介いたします。

所 和歌山市吹上1-4-14 図 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 図月曜(祝日の場合は次の平日)、年末年始(12/29～1/3) 図一般280円(団体220円)、大学生170円(団体140円) ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ※7月18日(水)～8月31日(金)の平日は入館料が50%割引になります。 図

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

『なつやすみの美術館2:かたちと色のABC』

■開催中～8月26日(日)

「なんだかよくわからない」一作品の前でそう感じたことはありませんか。夏休み中の子供と大人と一緒に作品にじっくり向き合い、たくさんの「わかる!」を感じてもらおうという試みです。作品に何が描かれているかということ以前に、私たちは作品の「かたち」や「色」を見ているという事実。そこに目を向けた時、現代の美術の世界が皆さんの中でさらに広がるはずです。



ジョセフ・アルバーンス(Joseph Albers)「Formulation: Articulation I-1」1972年 シルクスクリーン、紙 © The Josef and Anni Albers Foundation

所 和歌山市吹上1-4-14 図 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 図月曜(祝日の場合は次の平日) 図一般500円(団体400円)、大学生300円(団体250円) ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) ※7月18日(水)～8月31日(金)の平日は入館料が50%割引になります。 図

和歌山県民文化会館ホール抽選会 (予約開始日)のご案内

和歌山県民文化会館全館の耐震化工事(平成25年3月末まで予定)に伴い事務所を移転していますが、この期間中、ホール抽選会(予約開始日)及び主催事業の入場券の取り扱いについては下記の場所に変更になっておりますのでご了承ください。

■抽選会の日程

大ホール	小ホール	抽選会日時
平成26年8月	平成25年8月	平成24年7月31日(火)午前9時
平成26年9月	平成25年9月	平成24年8月31日(金)午前9時
平成26年10月	平成25年10月	平成24年9月28日(金)午前9時
平成26年11月	平成25年11月	平成24年10月31日(水)午前9時
平成26年12月	平成25年12月	平成24年11月30日(金)午前9時
平成27年1月	平成26年1月	平成24年12月28日(金)午前9時
平成27年2月	平成26年2月	平成25年1月31日(木)午前9時
平成27年3月	平成26年3月	平成25年2月28日(金)午前9時

■抽選会実施場所

〒640-8268和歌山市広道20番地 第3田中ビル 1階 会議室B
(場所は、県民文化会館西隣(ホテルアパローム紀の国隣))

■予約チケットの受取・販売場所

県民文化会館駐車場 管理事務所(ホテルアパローム紀の国向かい側)
営業日時/月曜日～日曜日(午前9時～午後7時)

■予約受付・問い合わせ

〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル 2階
(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335



和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成24年7月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F
☎073(436)1331 FAX 073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp